

困ること 手ごあつた

時向はいつも ちびしい

あとも時向で人がまゝ

同じく平後のハルバしか来て食事は原の

いつも学う 巾よりくりあべられる

今身も同じ どのつもりでいい

デレリ その時向は金平半ど可が

かすいすむ^レ私に困る

告^事をう^レのは ティブルをフかい

軍イスで食事と学う

すると その人は 斬^音るのをティブルに

唇^音をう^レと 純身にらるる

跳るのを心や^レと 鬼の純身は

同じ場所では ちがうことをやる

部屋が広げれば なんともある

さうあるから 同じことも居る^レいる

とうすたば ちい^レか うすく行くには

何をすれば ちい^レか

ハルバが 小型子^レブル^音もつて来た

ここに食事にし^レと ときつてくは

困りとは 次々来りたり

こればかりの子に 此ればかりの思いと 思ふなり

さきと次が来り

人並はそういふもの

と言われりと かんや 辛業はあり

他かろ思ふと そんな小き事にと

はじめてのなり

それがすべしと

気がしなれ 気がしなれ と 思ひかえり

おぼろすべしと

なにかとも有り 新らしい年が

あきらめし

2021
12/15